

2025年3月期 決算説明資料

2025年5月22日

芝浦機械株式会社

2025年3月期 決算概要

- 1) 対業績予想
- 2) 決算のポイント
- 3) 対前年度

※本編で使用されている“BSF”は、“リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置”を示しています。

業績サマリー（対業績予想）

Shibaura Machine

（単位：億円）

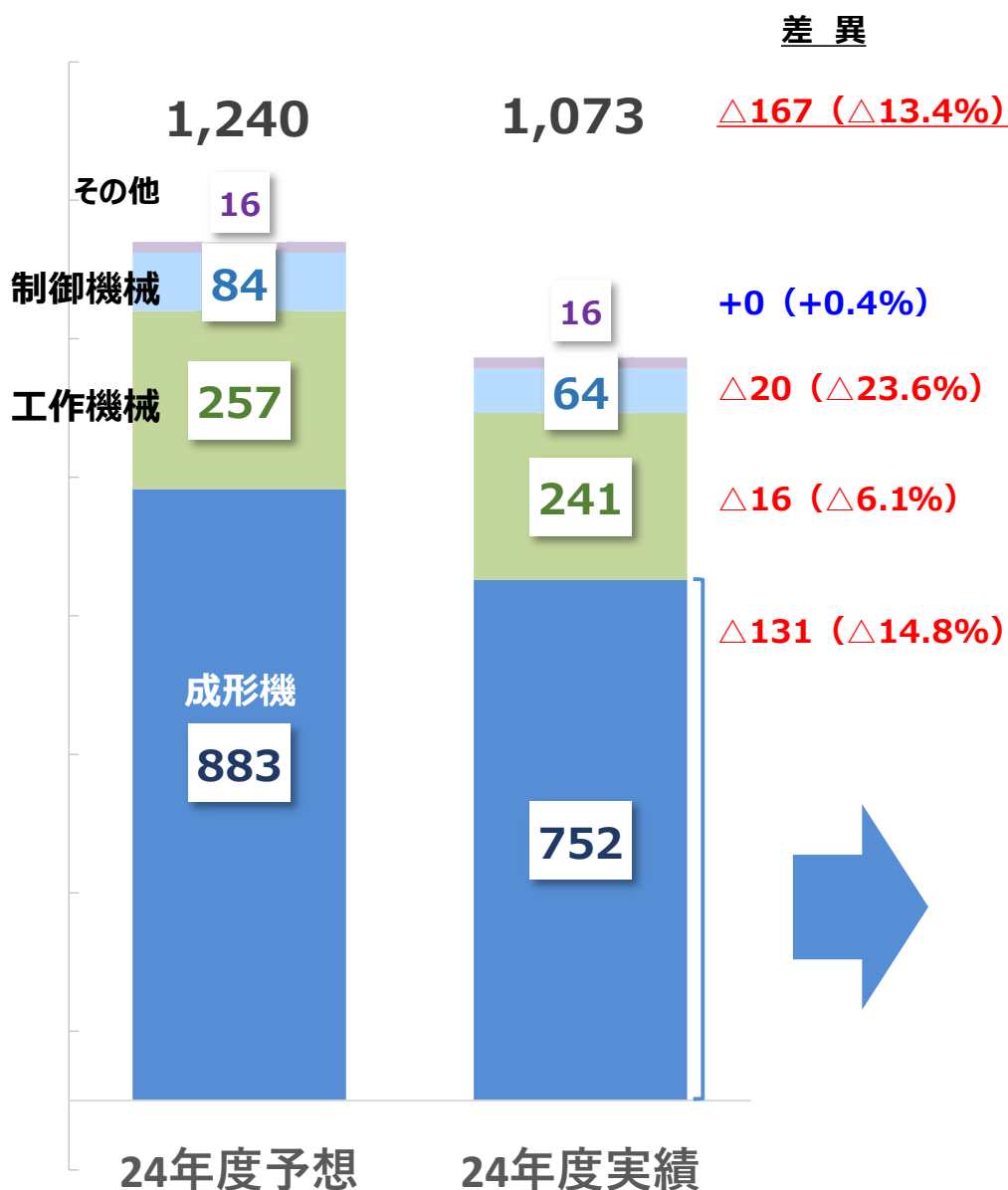
	2024年度 実績 (A)	2024年度 業績予想 (2024/11/12公表) (B)	差異 (A-B)
売上高	1,681	1,700	△ 19
営業利益	140	140	+0
利益率	8.4%	8.2%	+0.2pt
経常利益	140	132	+8
利益率	8.4%	7.8%	+0.6pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	125	117	+8
利益率	7.5%	6.9%	+0.6pt
受注高	1,073	1,240	△ 167
為替レート（USD）	150 円	140 円	

- 売上高は概ね業績予想通りだが、全セグメントとも僅かに未達
- 営業利益は売上規模減少も工作機械セグメントの利益率改善等により達成
- 為替差損益等の好転により経常利益、当期純利益増加
- 受注高は、EV向け「BSF」をはじめ、全セグメントにおいて未達

対業績予想 受注高 (セグメント)

Shibaura Machine

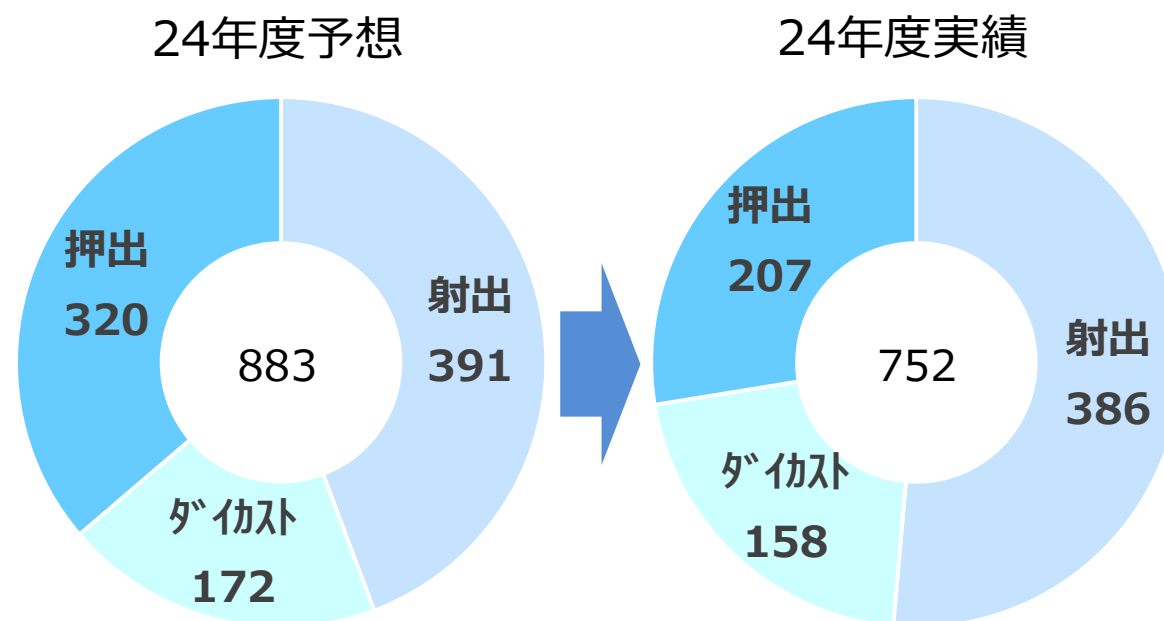
(単位：億円)



(単位：億円)

成形機内訳

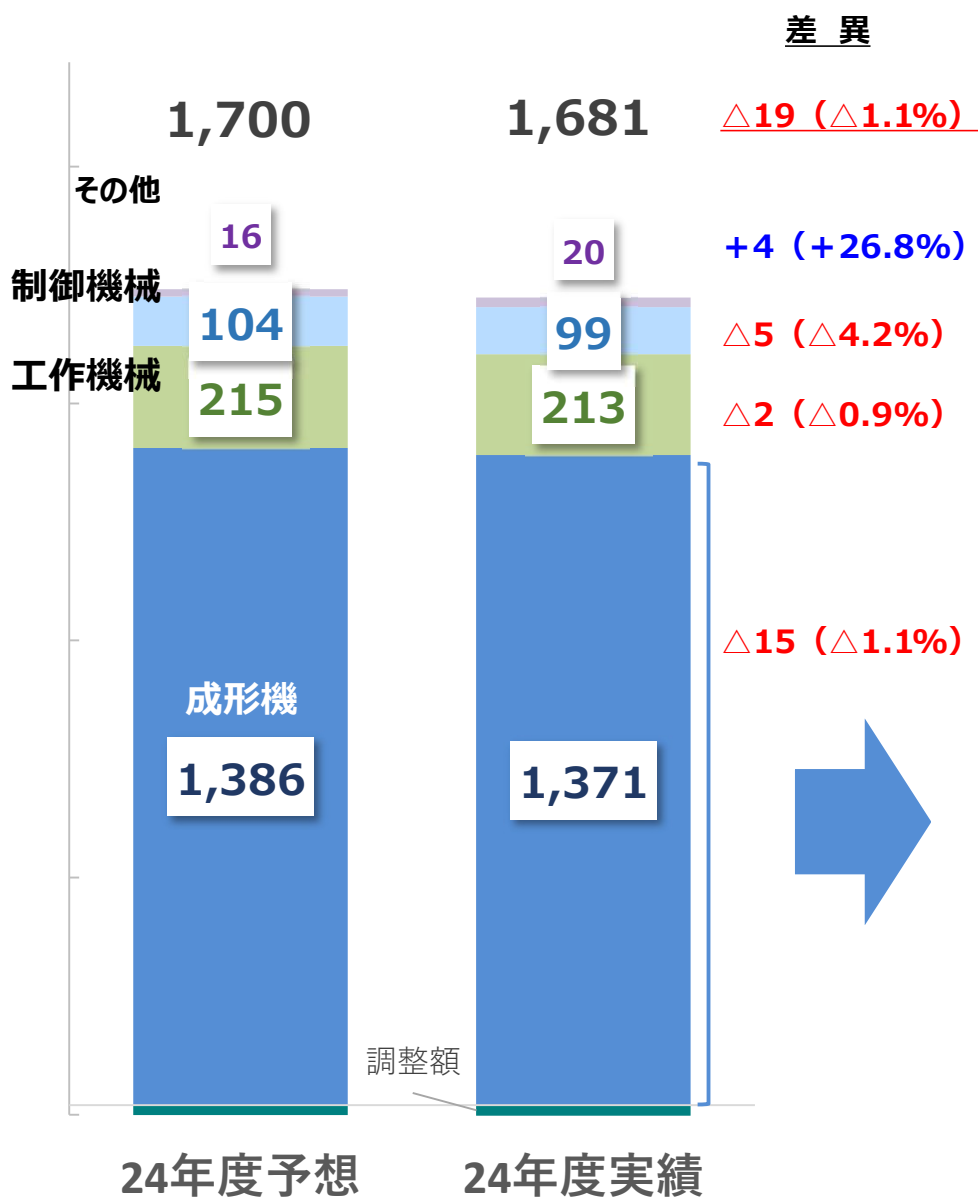
射出 : 射出成形機
ダイカスト : ダイカストマシン
押出 : 押出成形機



対業績予想 売上高 (セグメント)

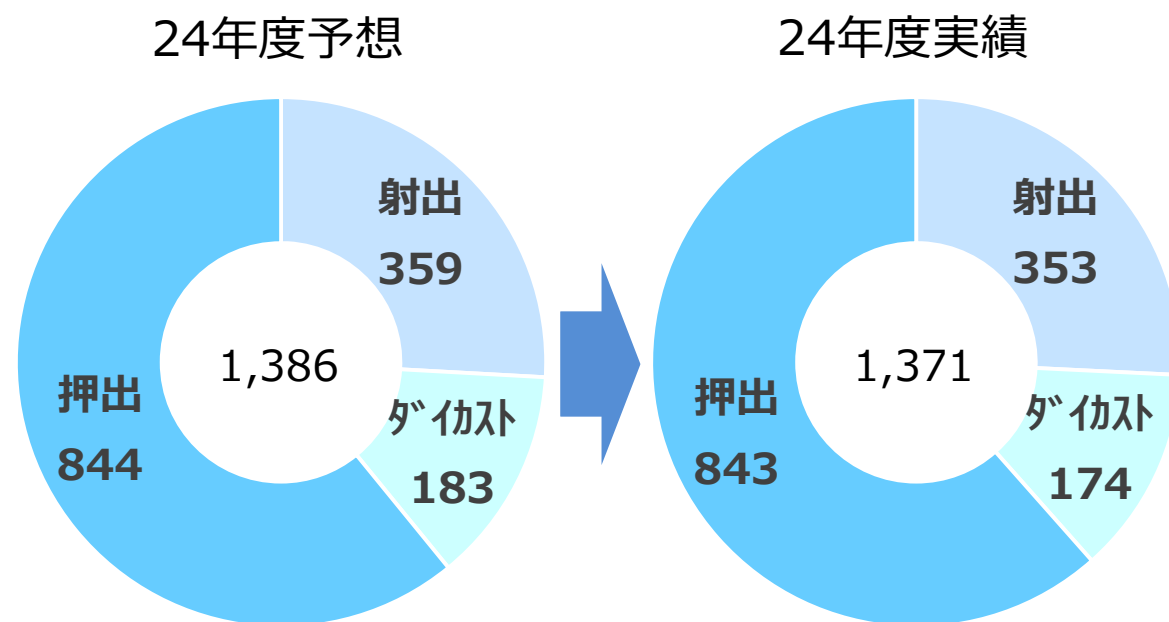
Shibaura Machine

(単位：億円)



(単位：億円)

成形機内訳



前年度比 増収、営業利益増益 経常利益・当期純利益減益

■ 売上高

- [成形機] ・押出成形機のEV用「BSF」が中国において大幅に増加
・射出成形機が国内、中国、インドで増加も、北米において減少
- [工作機械] ・大型の工作機械が国内、中国、北米において減少

■ 営業利益・経常利益・当期純利益

- ・売上規模増加等により営業利益は増益
- ・為替変動の影響等により、経常利益は減益
- ・前年度に計上した固定資産売却益の反動減により当期純利益は減益

■ 受注高

- [成形機] ・押出成形機が光学向け増加も、「BSF」がEV市場減速により減少
・射出成形機が国内の自動車向け、中国、インドにおいて増加
- [工作機械] ・超精密加工機が国内、中国において増加

業績サマリー（対前年度）

Shibaura Machine

（単位：億円）

	2024年度実績 (A)	2023年度実績 (B)	差異 (A-B)
売上高	1,681	1,606	+75
営業利益	140	136	+4
利益率	8.4%	8.5%	△ 0.1pt
経常利益	140	146	△ 6
利益率	8.4%	9.1%	△ 0.7pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	125	179	△ 54
利益率	7.5%	11.2%	△ 3.7pt
受注高	1,073	1,211	△ 138
為替レート（USD）	150 円	151 円	

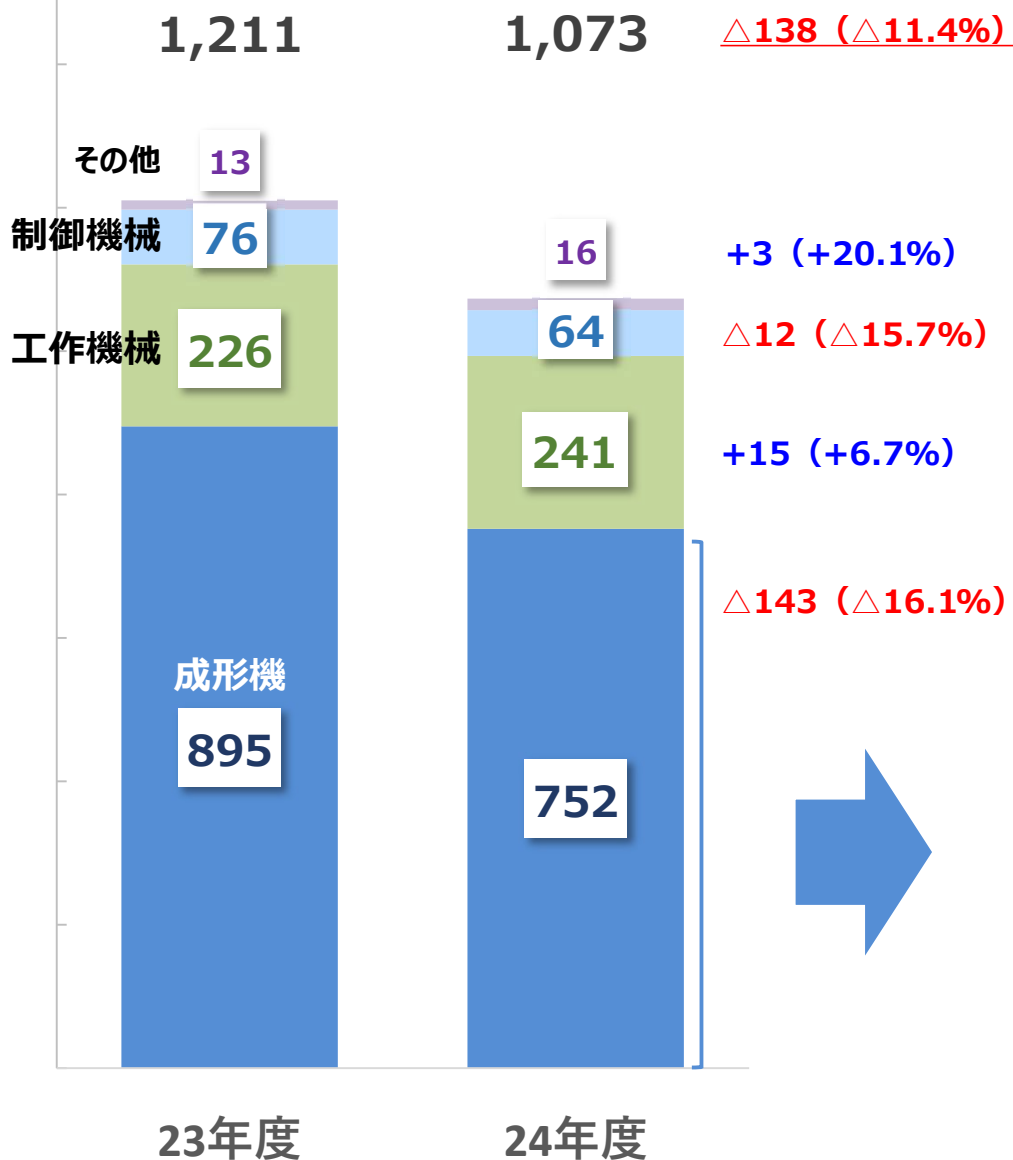
※営業利益為替感応度（US\$）
1 円につき約 1 億円／年（円安は利益増加）

受注高（セグメント）

Shibaura Machine

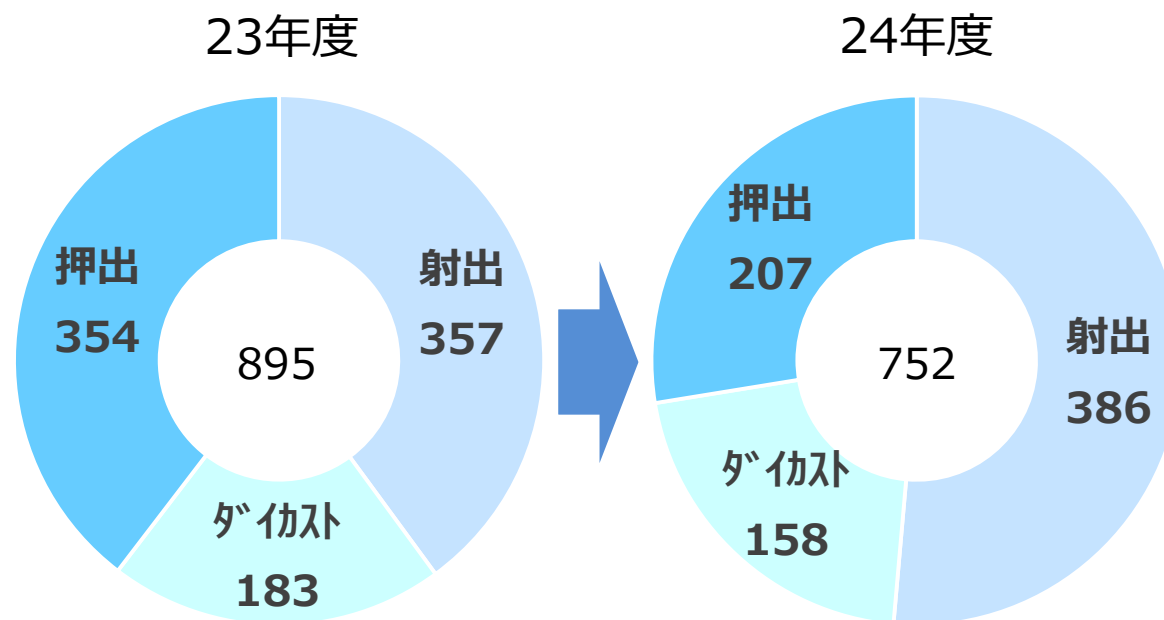
（単位：億円）

増 減



（単位：億円）

成形機内訳



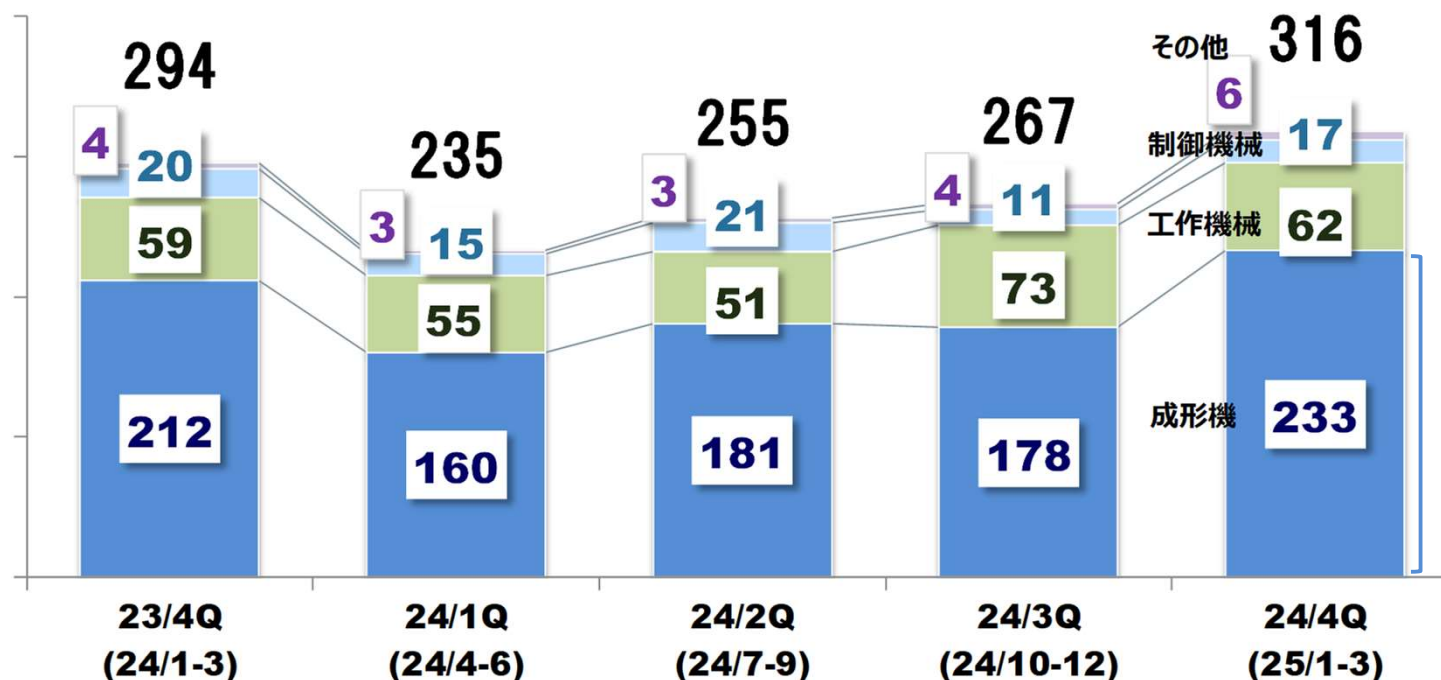
受注高推移（セグメント）

Shibaura Machine

（単位：億円）

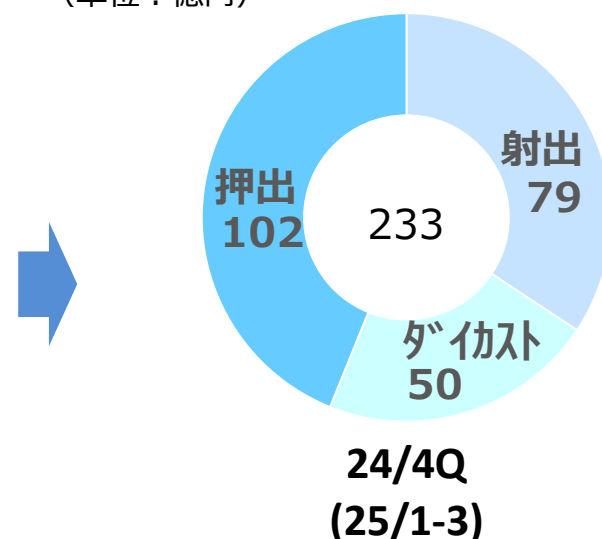
成形機には受注計上に四半期ごとの偏りがある
押出のEV用「BSF」の受注を含む

工作：大型の工作機械（工作機械セグメント）
精密：超精密加工機（工作機械セグメント）
制御：制御機械



成形機内訳

（単位：億円）



足元の受注状況

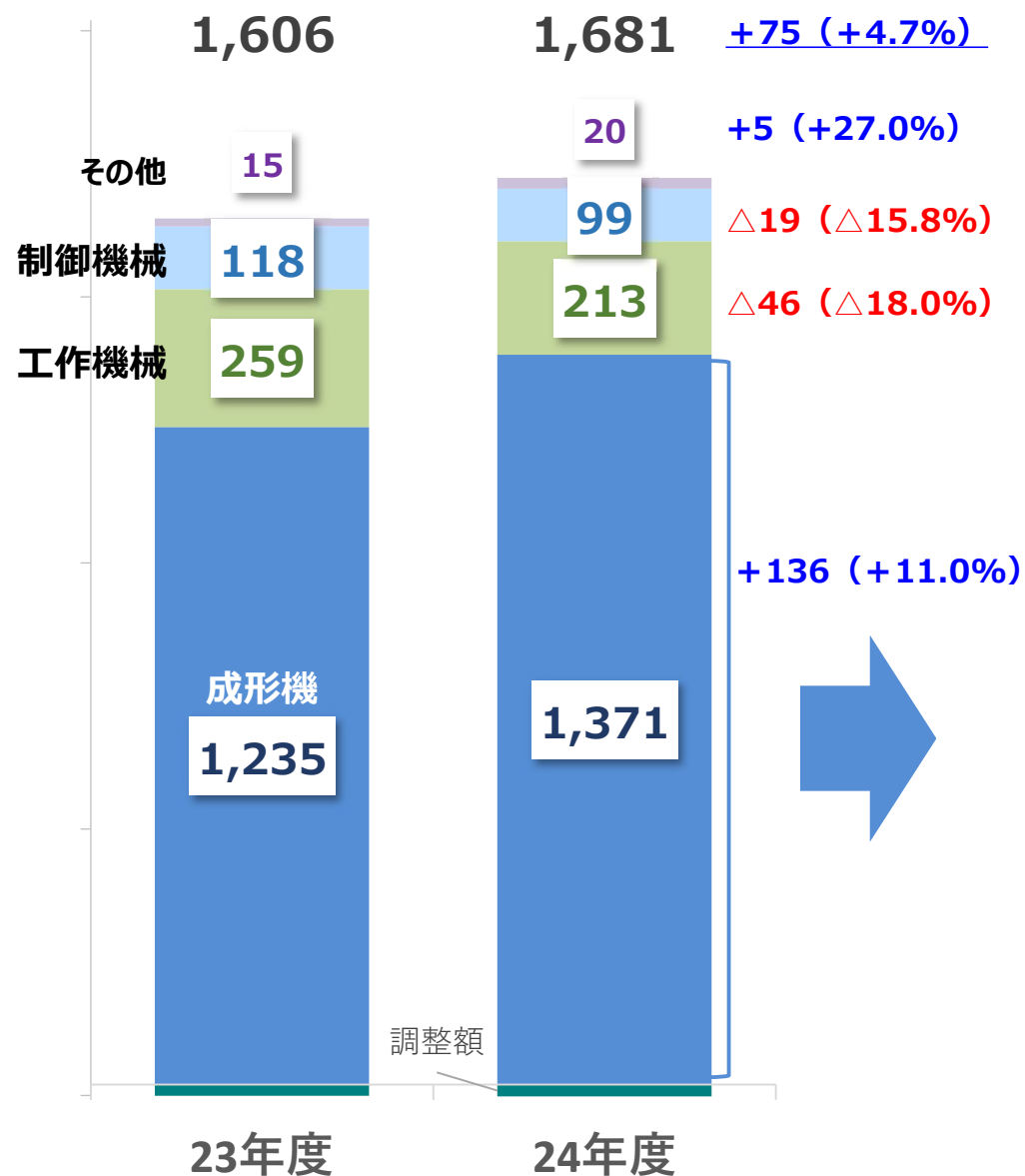
- 【射出】 国内における自動車向け中大型機、中国、インドで増加
- 【ダイヤス】 需要は緩やかに回復継続もEV向け関連投資に一服感
- 【押出】 「BSF」がEV市場の減速の影響により停滞、光学向け増加
- 【工作】 国内における産業機械、造船向け増加も、北米、中国で減少
- 【精密】 国内における光学レンズ、半導体製造装置向け、中国における車載レンズ、光通信向けが増加
- 【制御】 産業用ロボット低調、国内における電子制御装置減少

売上高（セグメント）

Shibaura Machine

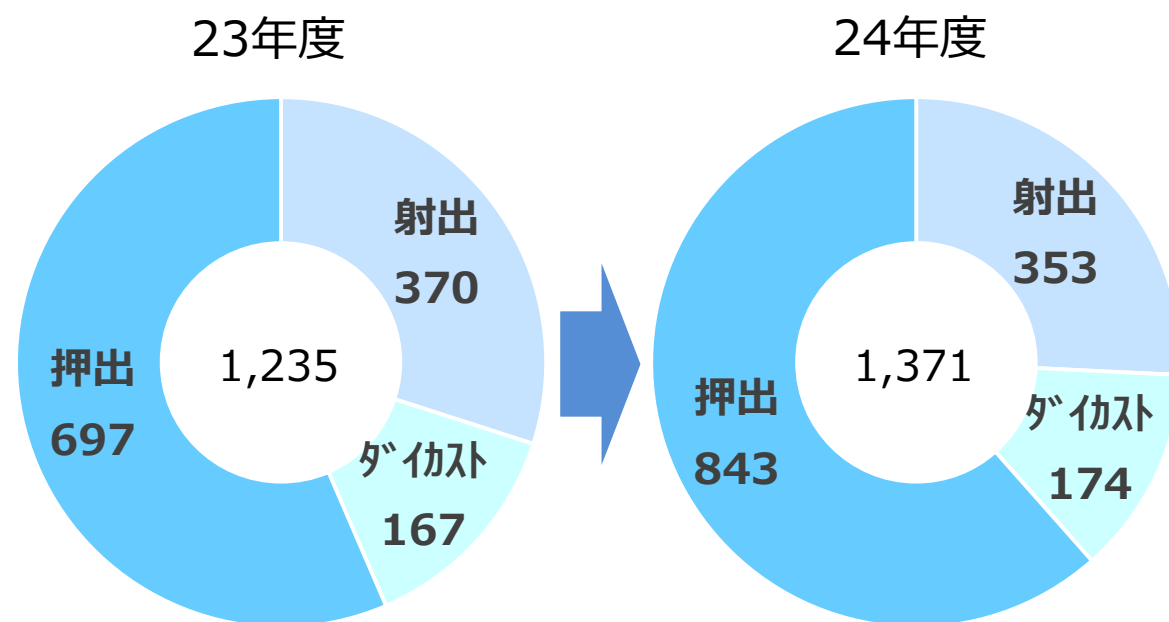
（単位：億円）

増 減



（単位：億円）

成形機内訳

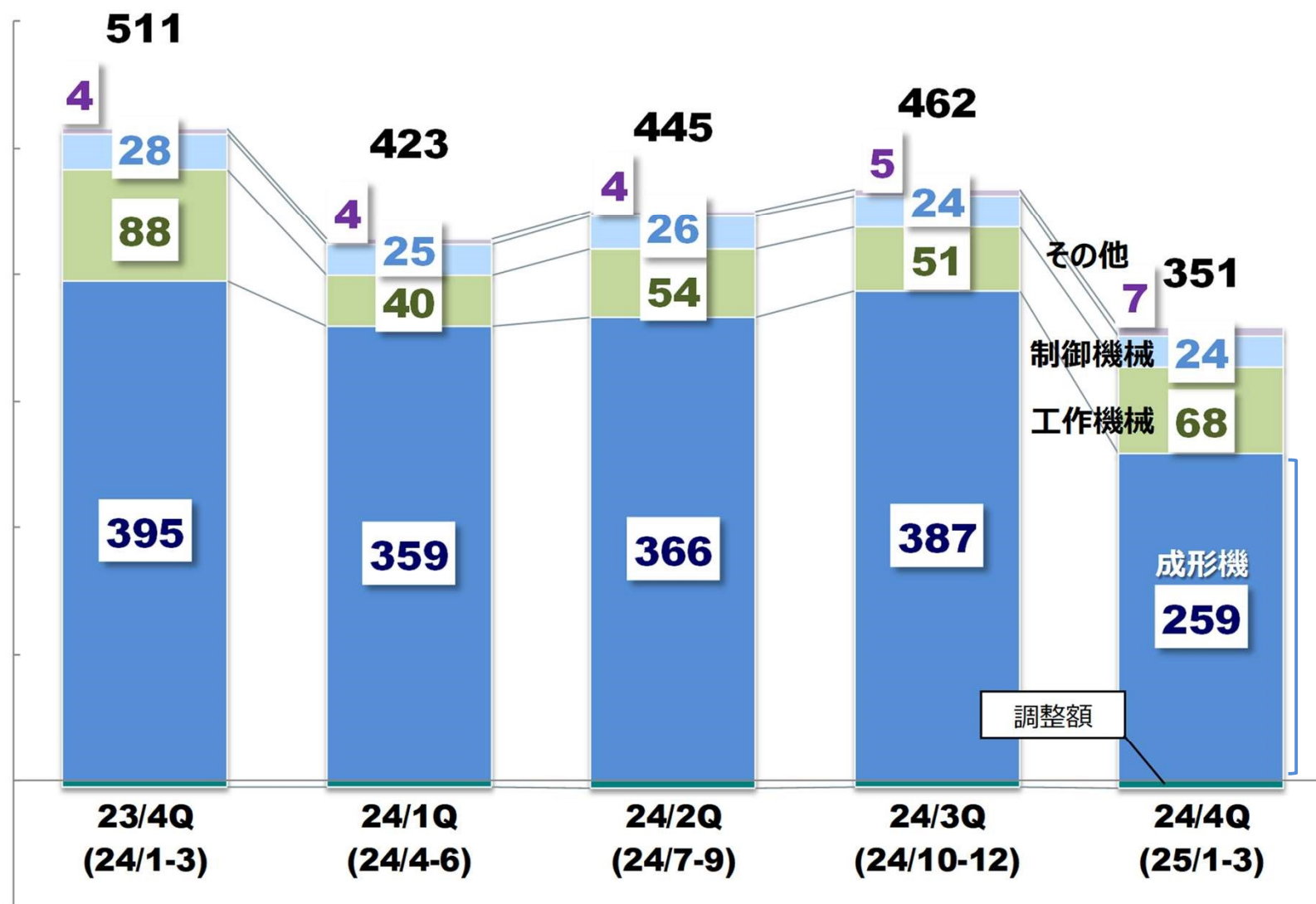


売上高推移（セグメント）

Shibaura Machine

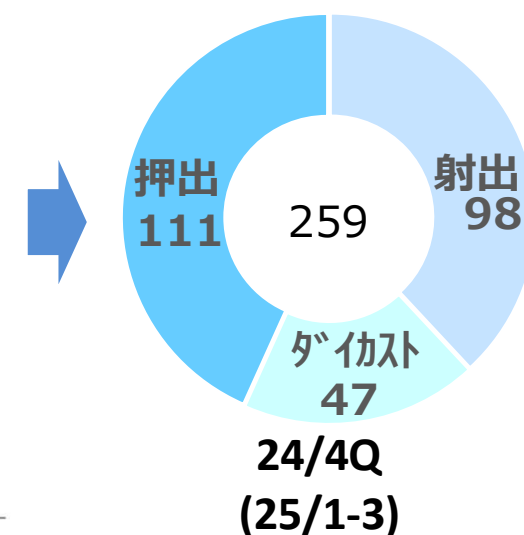
（単位：億円）

成形機には売上計上に四半期ごとの偏りがある
押出のEV用「BSF」の売上を含む



成形機内訳

（単位：億円）

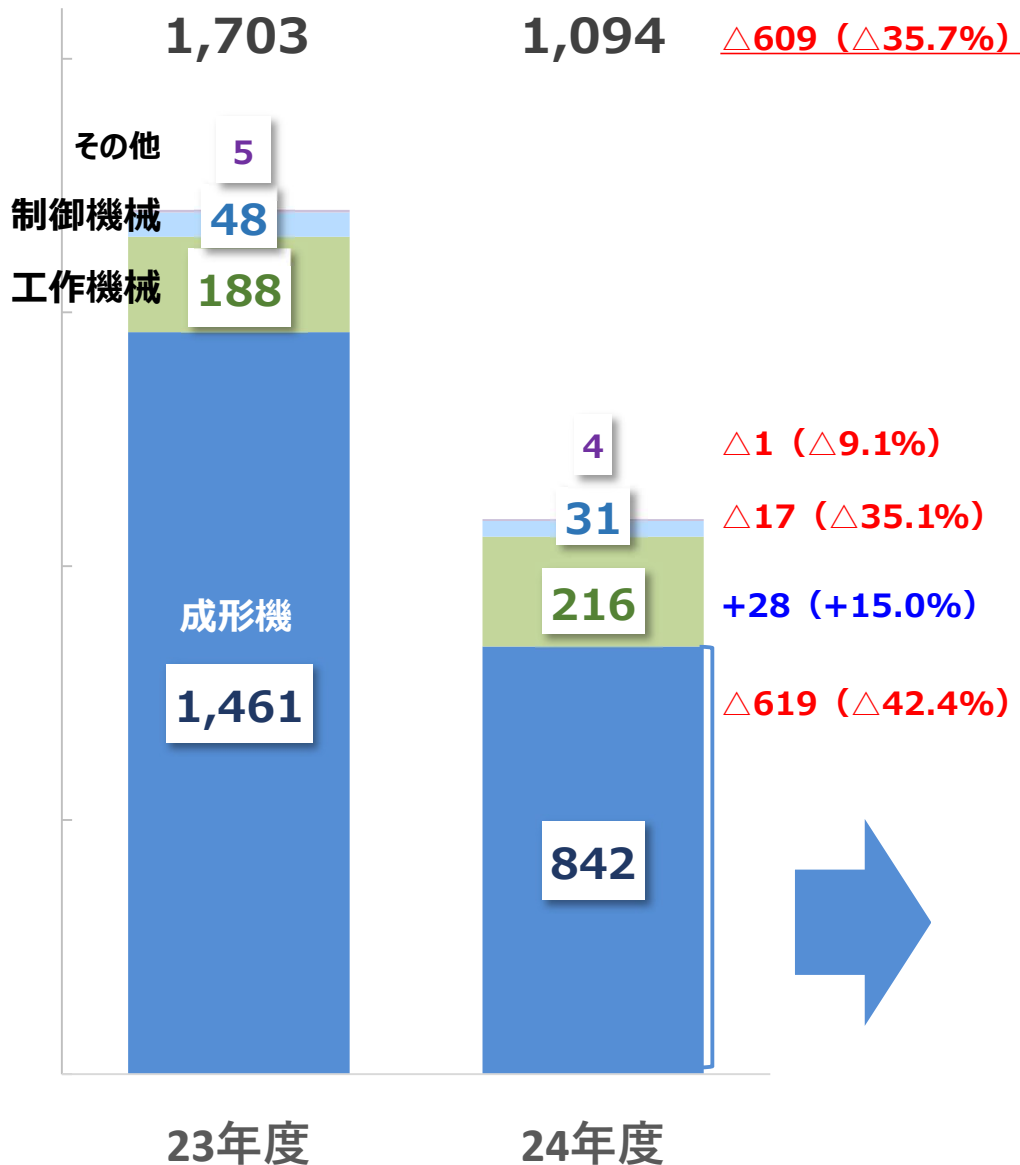


受注残高（セグメント）

Shibaura Machine

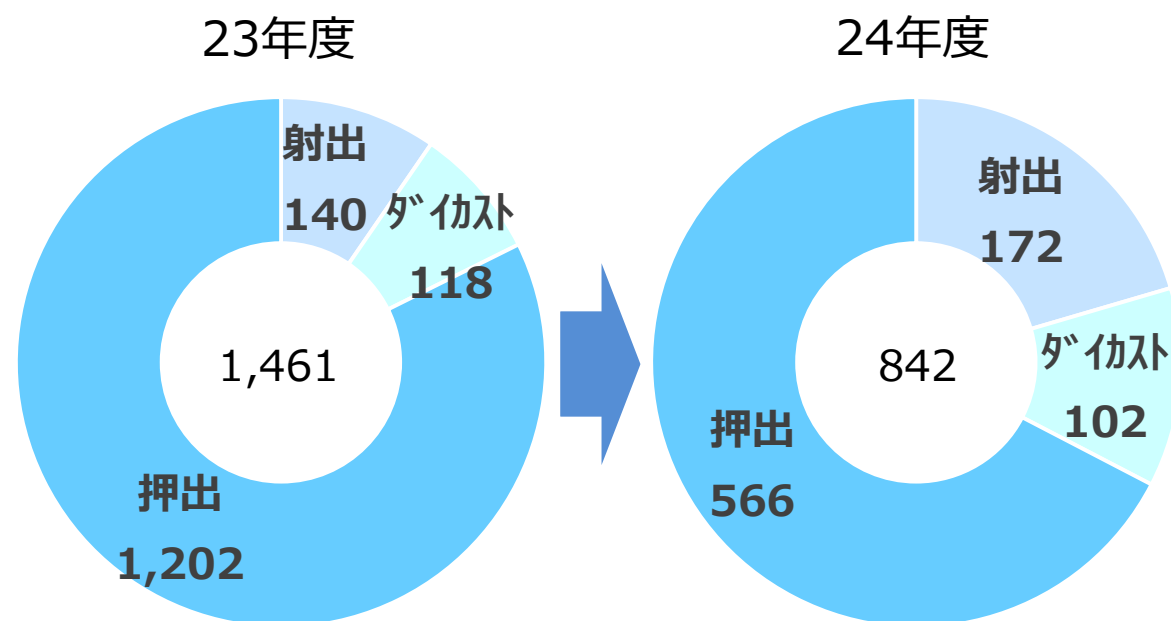
（単位：億円）

増 減



（単位：億円）

成形機内訳



営業利益（セグメント）・経常利益・当期純利益

Shibaura Machine

(単位：億円)

営業利益

+4 (+3.5%)

136

140

制御機械
工作機械

3

5

成形機

129

141

その他

△5
(-%)

制御機械

△2
(△67.5%)

工作機械

+0
(+15.1%)

成形機

+12
(+9.2%)

その他

△2

△7

23年度

24年度

(単位：億円)

経常利益

△6 (△3.6%)

当期純利益

△54 (△29.7%)

「MFLP座間」
固定資産（土地）
売却益を含む

固定資産（土地）
売却益を含む

146

140

179

125

23年度

24年度

23年度

24年度

(成形機) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	24年度	23年度	差異	
			金額	率
売上高	1,371	1,235	+136	+11.0%
営業利益	141	129	+12	+9.2%
利益率	10.3%	10.5%	—	△ 0.2pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【ダイカスト】インド、韓国、東南アジアにおいて増加
- 【押出】中国におけるEV用「BSF」の大幅増加



ネガティブ・ファクター

- 【射出】北米、東南アジアにおいて減少

(工作機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(工作機械、超精密加工機など)

	24年度	23年度	差異	
			金額	率
売上高	213	259	△ 46	△ 18.0%
営業利益	5	5	+0	+15.1%
利益率	2.7%	2.0%	—	+0.7pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【工作】粗利率の改善



ネガティブ・ファクター

- 【工作】国内、中国、北米において減少
- 【精密】中国において減少

(制御機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	25年度予想	24年度実績	差異	
			金額	率
売上高	93	99	△ 6	△ 6.7%
営業利益	0	1	△ 1	△ 100.0%
利益率	0.0%	1.1%	—	△ 1.1pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- システムエンジニアリング増強



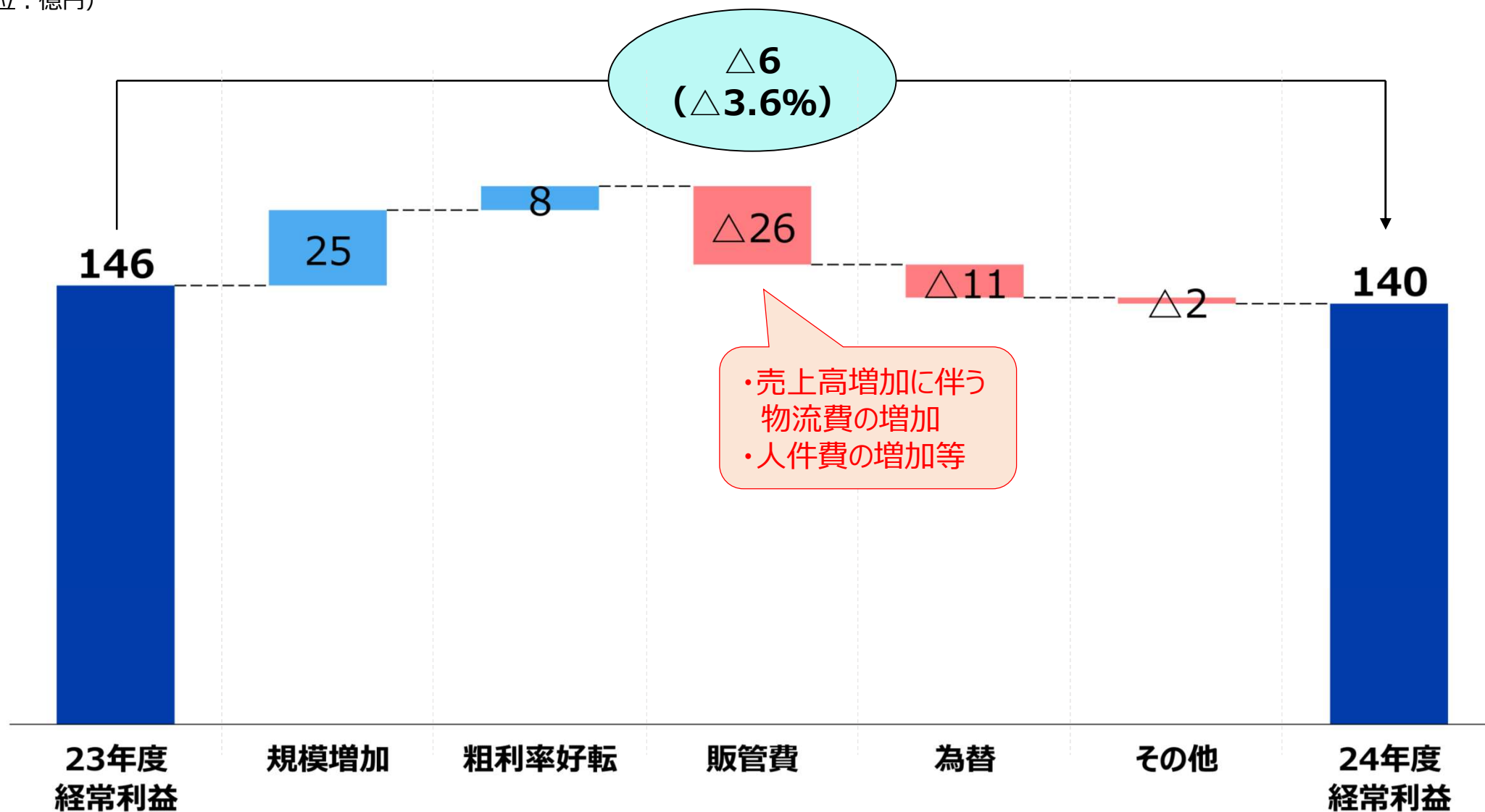
ネガティブ・ファクター

- 国内における電子制御装置減少

経常利益分析

Shibaura Machine

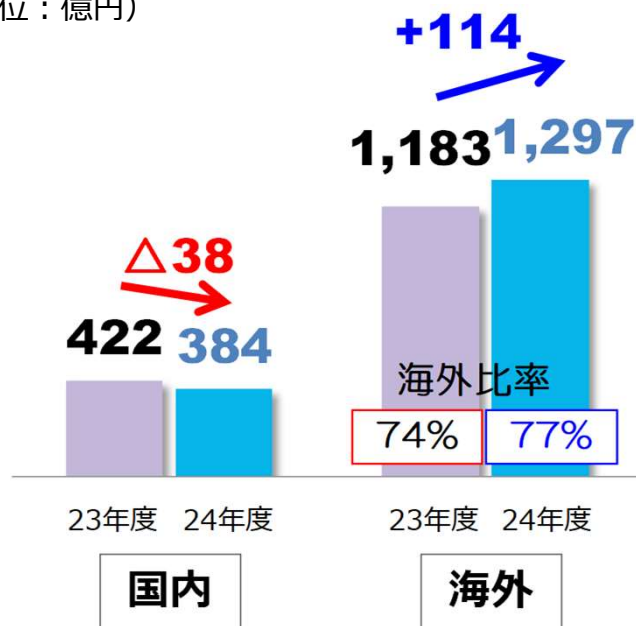
(単位：億円)



国内・海外売上高

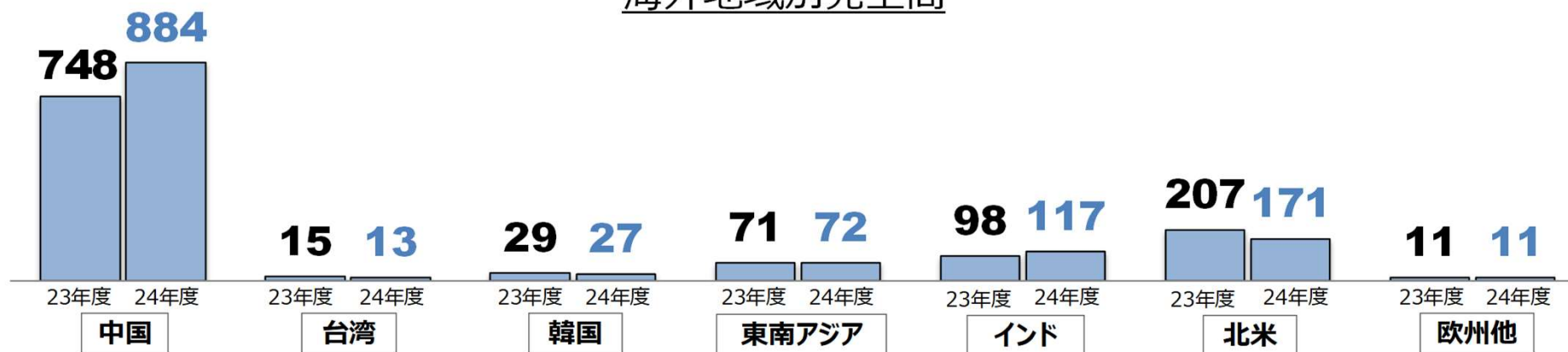
Shibaura Machine

(単位：億円)



- 国内：
 - ➡ 【射出】【精密】増加
 - ➡ 【ダクト】【押出】【工作】【制御】減少
- 中国：
 - ➡ 【射出】【押出】増加
 - ➡ 【ダクト】【工作】【精密】減少
- 東南アジア：
 - ➡ 【ダクト】増加
 - ➡ 【射出】減少
- インド：
 - ➡ 【射出】【ダクト】増加
- 北米：
 - ➡ 【射出】【ダクト】【工作】減少

海外地域別売上高



海外売上高・比率（セグメント別）

Shibaura Machine

（単位：億円）

セグメント別 海外売上高 （海外比率）

海外売上高比率

23年度：74%

24年度：77%

(84%) (86%)
1,040 1,184

23年度 24年度

成形機

(53%) (50%)
136 106

23年度 24年度

工作機械

(6%) (8%)
5 6

23年度 24年度

制御機械

(2%) (2%)
0 0

23年度 24年度

その他

成形機 製品別 （海外比率）

(80%) (77%)
297 272

23年度 24年度

射出

(67%) (70%)
111 121

23年度 24年度

ダイカスト

(91%) (94%)
631 791

23年度 24年度

押出

貸借対照表

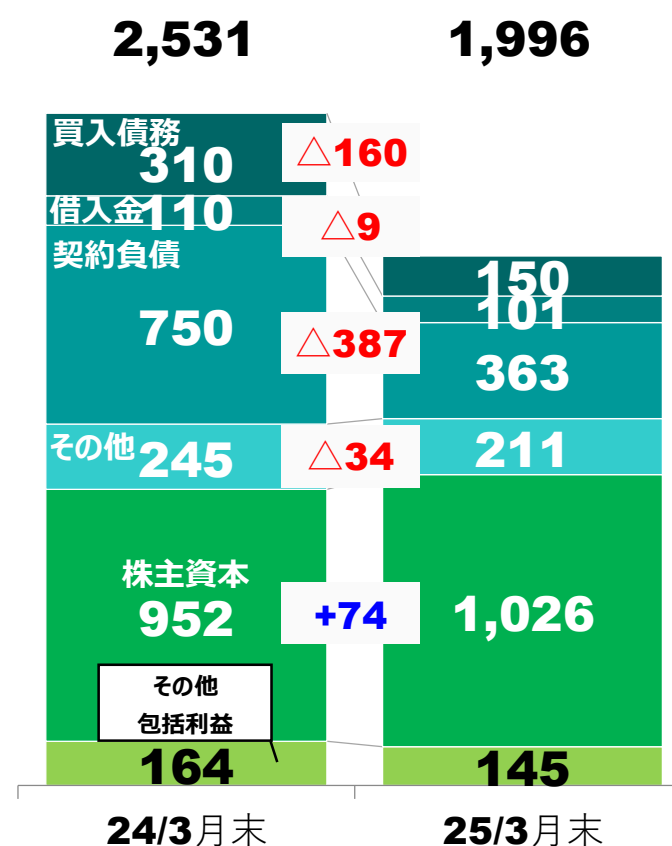
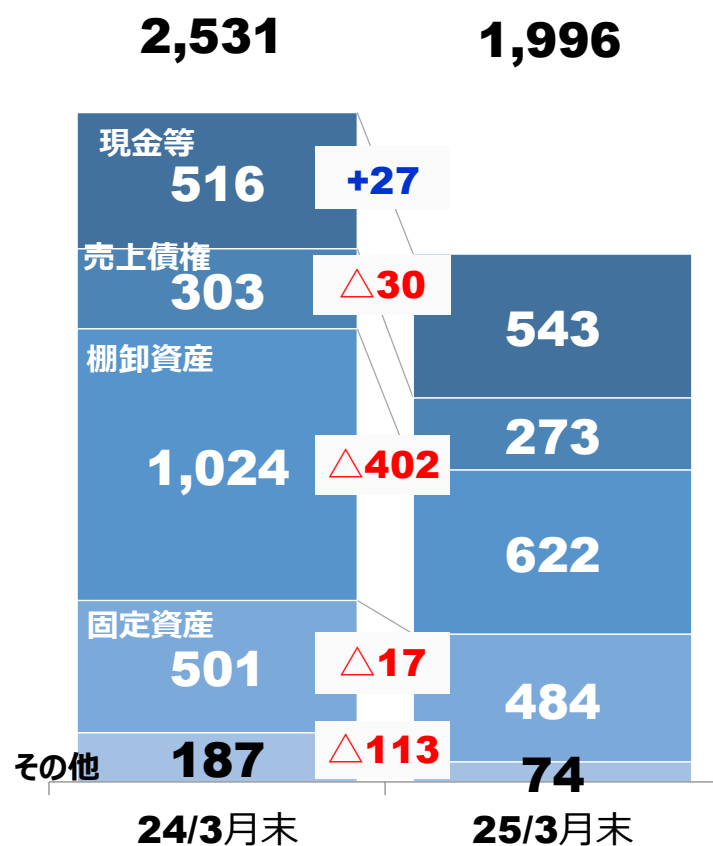
Shibaura Machine

(単位：億円)

資産

負債

純資産



	24/3月末	25/3月末
自己資本比率	44.1%	58.7%
D／E比率	9.9%	8.6%

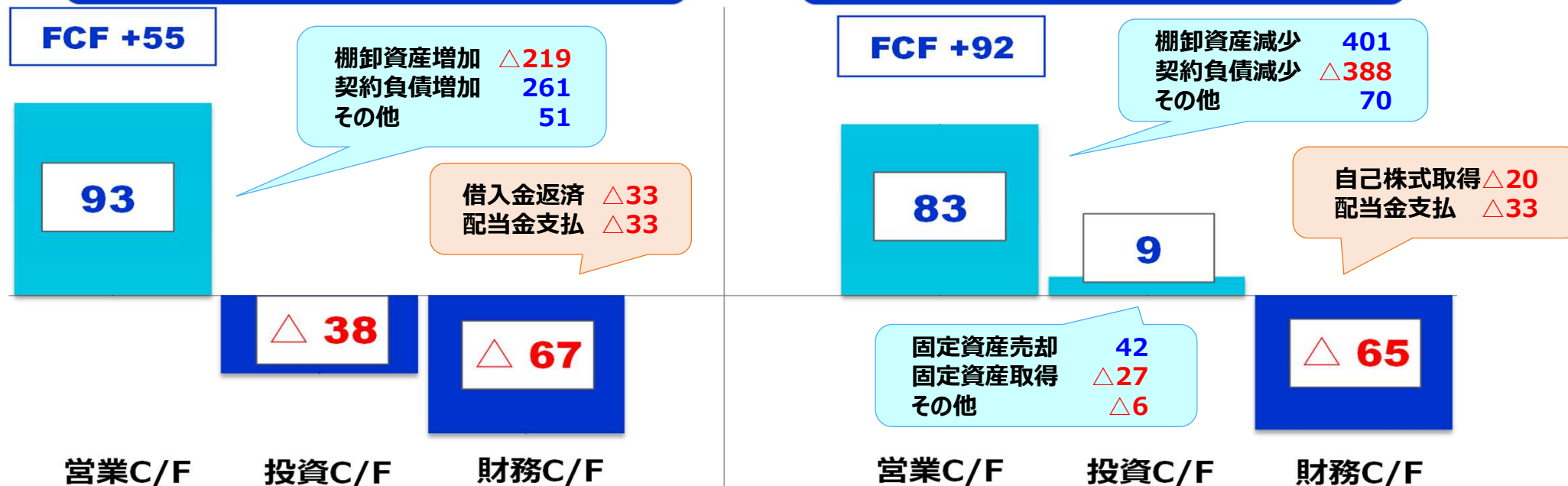
キャッシュ・フロー計算書

Shibaura Machine

(単位：億円)

23年度

24年度



	23年度	24年度	増 減
現金及び同等物 期首残高	508	515	7
営業活動によるC／F	93	83	△ 10
投資活動によるC／F	△ 38	9	47
財務活動によるC／F	△ 67	△ 65	2
計	△ 12	27	39
換算差額 他	19	0	△ 19
現金及び同等物 期末残高	515	543	28

2026年3月期 業績予想

- 1) 業績予想
- 2) 研究開発費、設備投資・減価償却費
- 3) 配当予想

2025年度 業績サマリー

Shibaura Machine

(単位：億円)

	2025年度 業績予想 (2025/5/12公表) (A)	2024年度 実績 (B)	差異 (A-B)
売上高	1,400	1,681	△ 281
営業利益	50	140	△ 90
利益率	3.6%	8.4%	△ 4.8pt
経常利益	50	140	△ 90
利益率	3.6%	8.4%	△ 4.8pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	33	125	△ 92
利益率	2.4%	7.5%	△ 5.1pt
受注高	1,380	1,073	+307
為替レート (USD)	145 円	150 円	

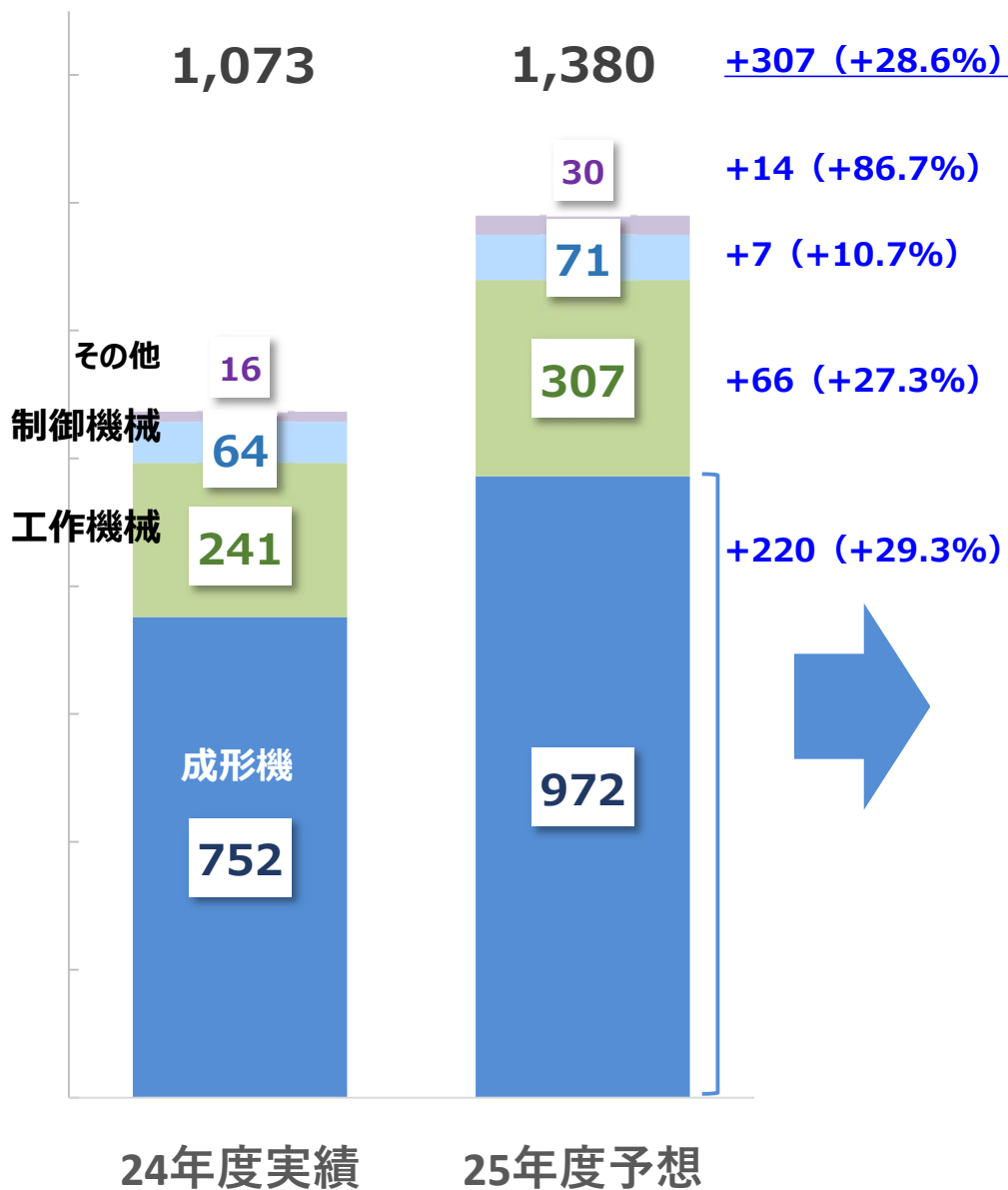
- 米国関税政策の影響により不透明感が強まる中、現時点で想定される影響を鑑み、通期業績予想を策定
- 売上高の減少は、主に押出成形機のEV用「BSF」の減少による
- 営業利益、経常利益の減少は、主に売上規模減少による
- 当期純利益の減少は、売上規模減少に加え前年度に計上した固定資産売却益（土地の売却益）の反動減による
- 受注高の増加は、主に押出成形機のEV用「BSF」、工作機械の増加を見込む

受注高（セグメント）

Shibaura Machine

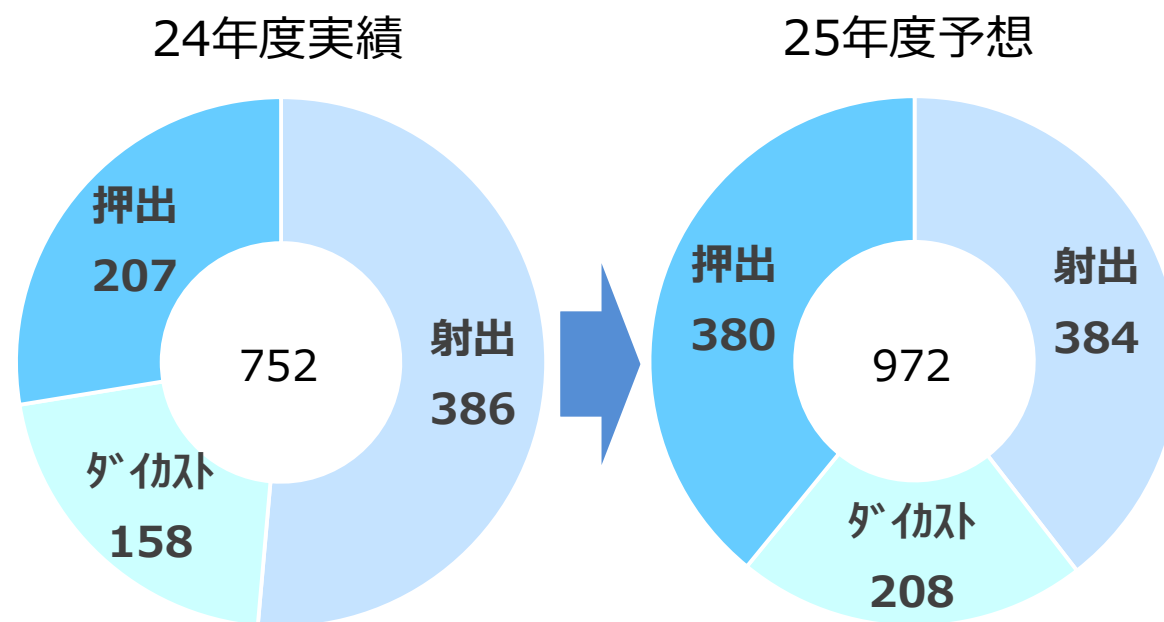
（単位：億円）

増 減



（単位：億円）

成形機内訳

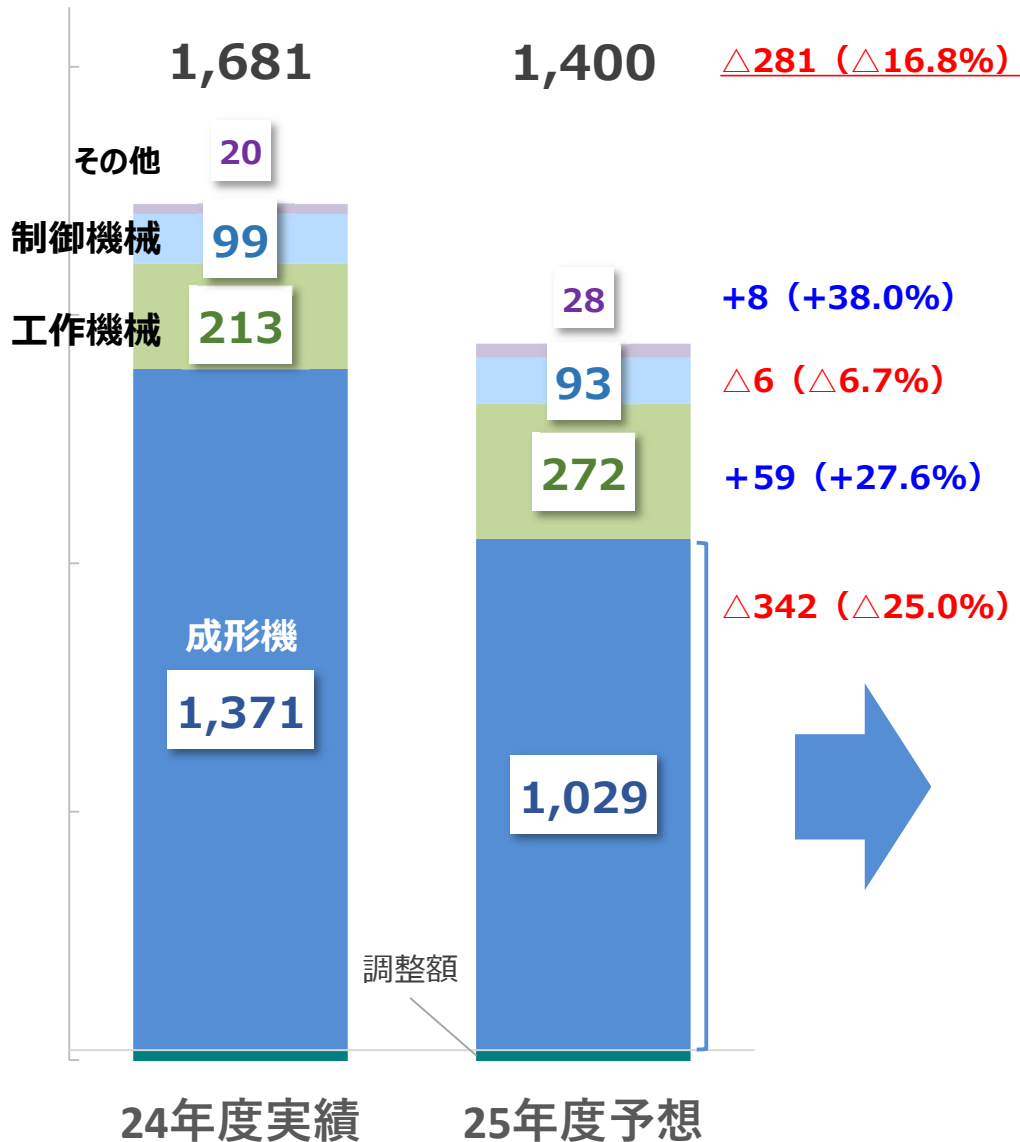


売上高（セグメント）

Shibaura Machine

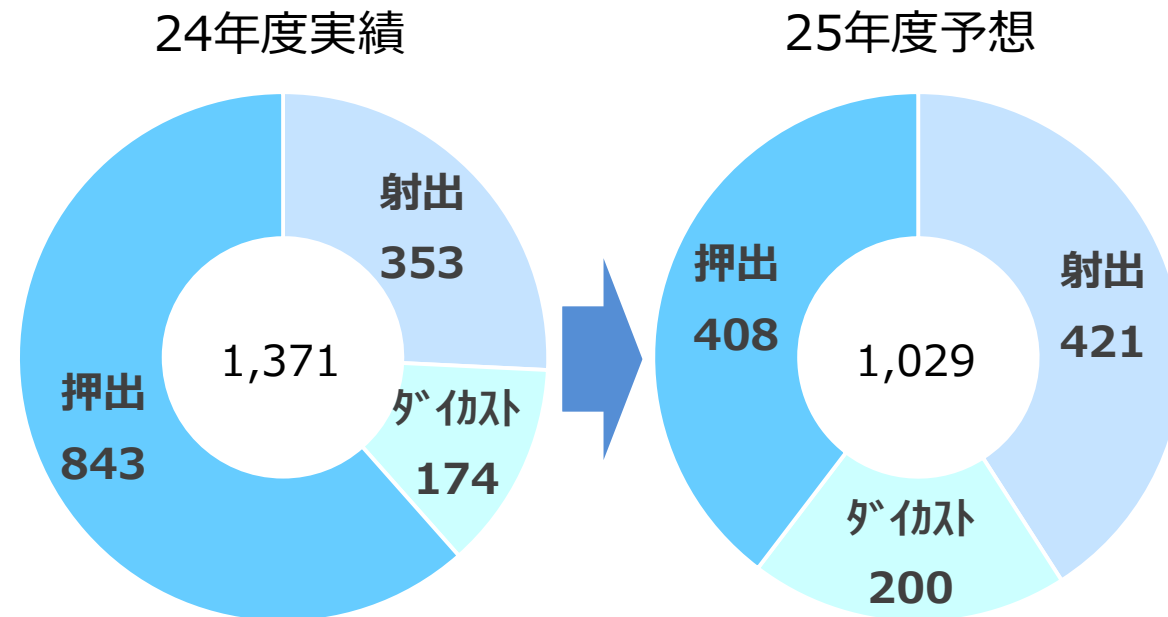
（単位：億円）

増 減



（単位：億円）

成形機内訳



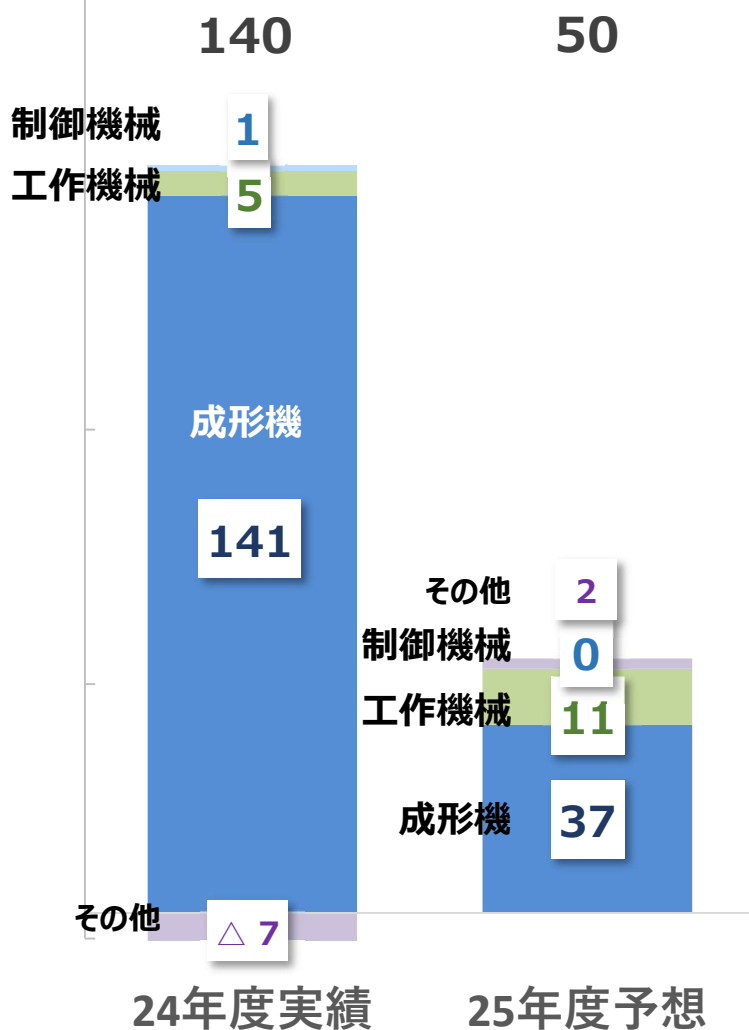
営業利益（セグメント）・経常利益・当期純利益

Shibaura Machine

(単位：億円)

営業利益

△90 (△64.5%)



その他
+9
(-%)

制御機械
△1
(△100.0%)

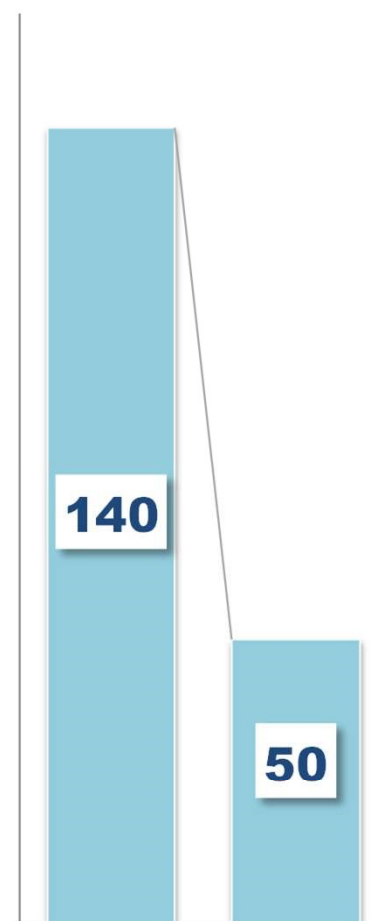
工作機械
+6
(+88.0%)

成形機
△104
(△73.8%)

(単位：億円)

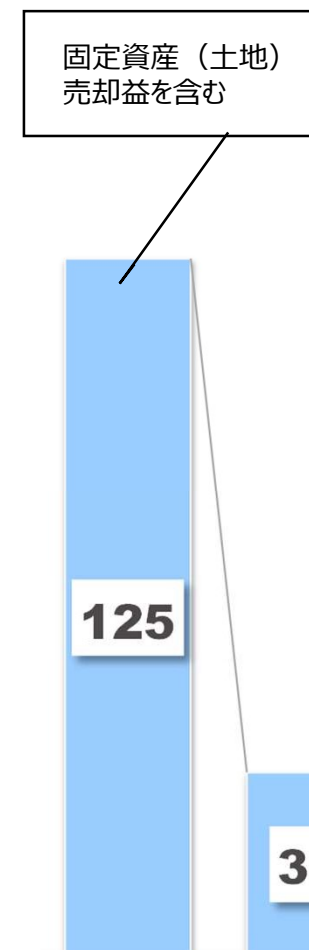
経常利益

△90 (△64.5%)



当期純利益

△92 (△73.8%)



(成形機) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	25年度予想	24年度実績	差異	
			金額	率
売上高	1,029	1,371	△ 342	△ 25.0%
営業利益	37	141	△ 104	△ 73.8%
利益率	3.6%	10.3%	—	△ 6.7pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【射出】インド市場の需要継続



ネガティブ・ファクター

- 【押出】中国におけるEV用「BSF」の減少
- 米国政権の関税政策の影響による設備投資下振れリスク

(工作機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(工作機械、超精密加工機など)

	25年度予想	24年度実績	差異	
			金額	率
売上高	272	213	+59	+27.6%
営業利益	11	5	+6	+88.0%
利益率	4.0%	2.7%	—	+1.3pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【工作】国内における産業機械、造船向け、北米におけるエネルギー関連向け増加
- 【精密】国内における光学レンズ、中国における車載レンズ、光通信向け増加



ネガティブ・ファクター

- 米国政権の関税政策の影響による設備投資下振れリスク

(制御機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置など)

	25年度予想	24年度実績	差異	
			金額	率
売上高	93	99	△ 6	△ 6.7%
営業利益	0	1	△ 1	△ 100.0%
利益率	0.0%	1.1%	—	△ 1.1pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 省人化・省力化向けシステムエンジニアリング関連の増加



ネガティブ・ファクター

- 国内における電子制御装置減少

研究開発費、設備投資・減価償却費

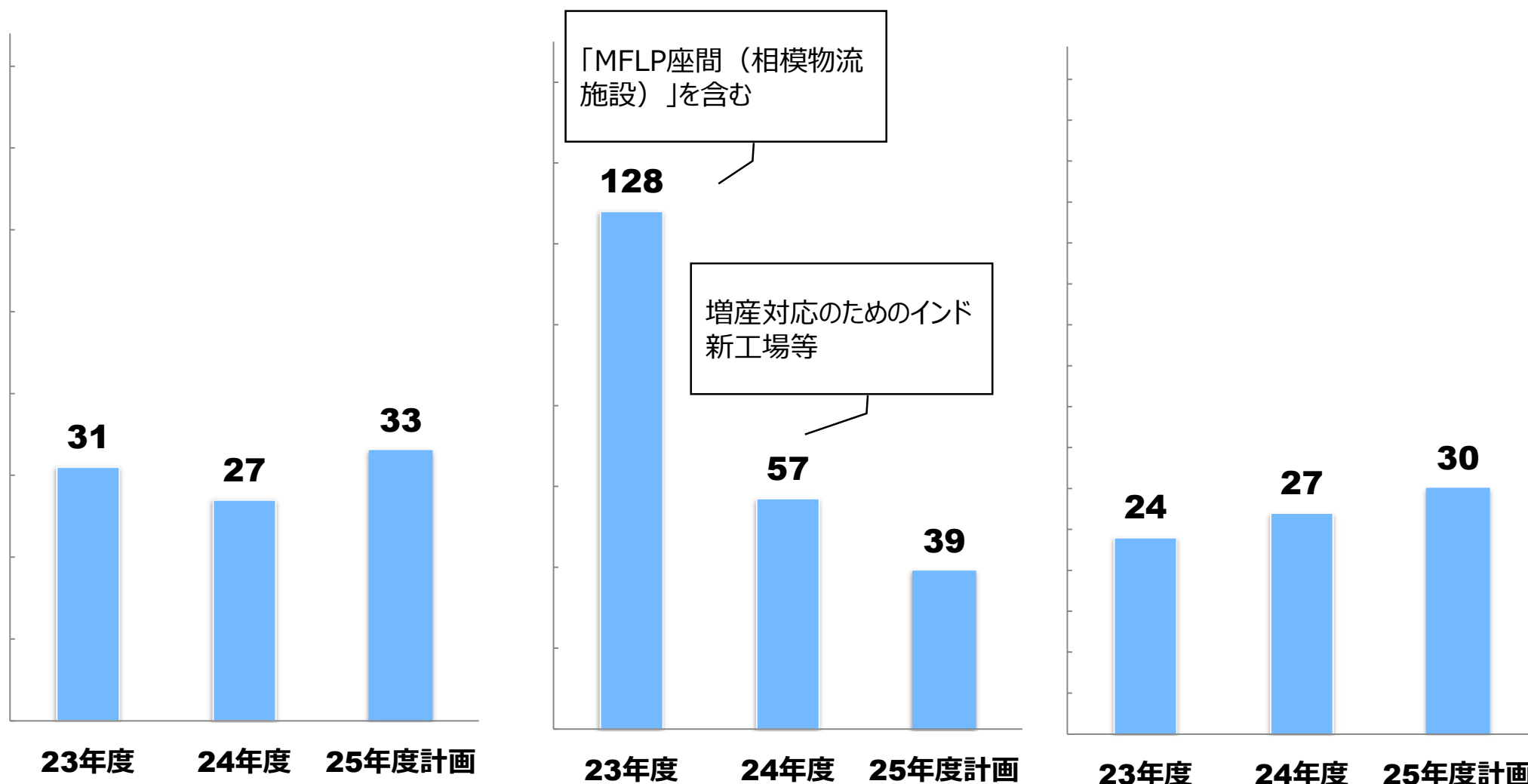
Shibaura Machine

(単位：億円)

研究開発費

設備投資

減価償却費



配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、人的資本の強化や生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

	第 2 四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2024年3月期	70.0円	70.0円	140.0円	※ 52.1%
2025年3月期	70.0円	70.0円	140.0円	26.4%
2026年3月期 (予想)	70.0円	70.0円	140.0円	100.3%

※2024年3月期の配当性向：「MFLP座間（相模物流施設）」事業化に係る特別利益（土地売却益）は、等価交換方式のため建物の持分取得に充てられたことから、当期純利益から除いています。

また、2024年5月13日に公表した自己株取得を含めた総還元性向として算出しています。

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0336 URL : <https://www.shibaura-machine.co.jp>